

各種商品小売業における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17～18	店内1階お客様用女子トイレにて、女の子がトイレブースに鍵を掛けて出られなくなっていると連絡があり、小さな脚立にのり、ブースの上から女の子に声かけをしたが、鍵を中から開ける事が出来なかった為、ブースと天井の間隙から身を乗り出して降りようとして着地した際、左足首を受傷した。	33～49	300
2	19～20	住宅街で飛び込みの営業活動中、訪問先から営業車へ戻る際、玄関先でバランスを崩し転倒した。その際右足を挫き負傷した。	54	—
4	20～21	店舗外の倉庫へごみを捨てに行った時、ゴミ庫の扉がはずれ、左足親指に落ちてきた。	17	1～9
5	8～9	水産冷凍庫内にて過分の材料を棚に戻し、冷凍庫を出ようとした際、前日行われた霜取りで滑りやすくなっていたのに気付かず、滑って仰向けに転倒し、腰部を強打して腰椎圧迫骨折を負った。	53	100～299
6	8～9	DC14号機プレス作業中、プレス型に残るオーバーフローを左手で取り除いた時、右手が起動ボタンに触れた際にプレス型が下降し、左手親指がプレス型に挟まった。プレス機は両手押しボタン仕様で、左側ボタン内に入ったバリが影響し、右側ボタンに触れた時に起動したと思われる。	63	30～49
6	15～16	退勤時店舗ビル従業員出入口から従業員通路に出る際、25cmの段差を下りようとして左足首を捻った。（転倒なし）	52	30～49
9	9～10	バックルームで材料の入ったサンテナを持って、スイングドアから作業場に入ろうとした際、同僚とぶつかってドアとサンテナに手を挟み、左手薬指つけ根を挫創し	36	300～

		た。		499
9	14～ 15	荷受場から売場に戻ろうとした際、荷受け場との間の閉じかかったドアを慌ててくぐり抜けようとしたところ、ぶつかり左目を打撲した。	61	100 ～ 299
11	18～ 19	被害者は、20トンダンプトラックと積載した砂利を市内から現場に運搬中、上り車線を直進していたところ、対向から右折して来た普通乗用車に激突され、さらに縁石、街灯に激突し、出血性ショックにより搬送先の病院で死亡した。現場は、片側2車線の信号機付きの十字路であった。	66	100 ～ 299
12	3～4	従業員入口で、左扉から入店し、開いたままの扉を引っ張って閉めようとした際、足元に落ちていたPOPに右足を滑らせて右側に転倒し、右尾てい骨解離を負った。	46	300 ～ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html